

お客様各位

SOx規制適合燃料油ご使用時の燃料油ポンプ運転注意事項について

平素は当社の製品をご利用頂き有難うございます。

SOx規制適合燃料油ご使用を検討される際に燃料油ポンプ(3軸ねじポンプ、1軸ねじポンプ、ギヤポンプ)に対し頻繁に頂くご質問に関しまして、下記の通り注意事項を連絡させていただきます。

1.経緯

MARPOL条約附属書Ⅳに基づくSOx排出規制が2020年1月1日に施行され、船舶の燃料油中に含まれる硫黄分の許容限度が強化されました。

それに伴い、船舶で使用される燃料油として、SOx規制適合燃料油の使用が開始されています。

2.問題点

SOx規制適合燃料油の性状の特徴として、流動点の上昇が挙げられます。

高流動点の燃料油は、加熱不足により動粘度の急激な上昇や、ワックス分によるフィルターの目詰まりにより、燃料油の移送が困難になることが予想されます。

これらの要因で、ポンプに燃料油が供給されない空運転となった場合、本来油膜を形成し、非接触で回転運動をするポンプ摺動面が金属接触となり、焼付き損傷が発生する可能性があります。

3.注意事項

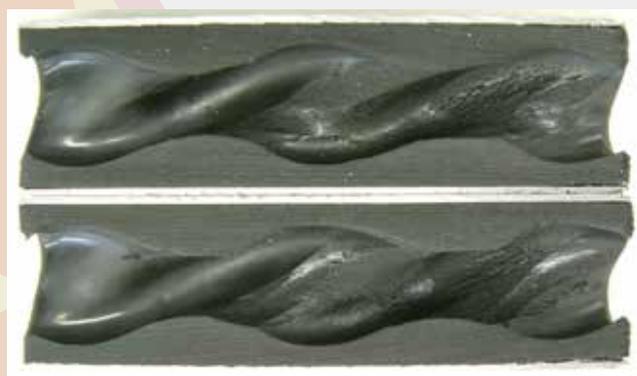
高流動点の燃料油を使用する場合は、流動点温度の+10℃以上を維持できるように貯蔵タンクを加熱してください。

貯蔵タンクだけでなく、ポンプに繋ぐ燃料配管もラギングを施工するなど、確実にポンプに燃料油が供給されるようにご考慮をお願いいたします。

加熱装置がない場合は、低温流動性を改善することが可能な添加剤の使用をご検討ください。



3軸ねじポンプ事故事例
ロータ損傷



1軸ねじポンプ事故事例
ステーター損傷

御問合せ先: business-marine@taiko-kk.com